

市区別賃料下落率ランキング解説 (J I K A U R I 資料)

1 東京都青梅市：－33.3%

青梅市は、東京都の多摩地域北西部にある市。人口は13万7千人（2015年1月1日現在）で、国分寺市（11万9千人）より多く、中央区（13万8千人）よりやや少ない規模です。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、青梅市の2040年の人口は10万4千人となり、25年で24.1%も人口が減少します。

2 東京都羽村市：－28.6%

羽村市は、東京都の多摩地域西部にある市。東京都の市の中で最も人口が少なく、東京ドームの収容人員（5万5千人）をやや上回る5万6千人ほど。羽村市の2040年の人口は4万9千人が見込まれ、5万人を切ることが予想されています。人口の減少率は14.3%。

3 埼玉県熊谷市：－28.1%

熊谷市は、埼玉県の北部にある市で、夏の暑さは厳しく、2007年には最高気温40.9度を記録するほど。人口は19万9千人ですが、2040年には16万人と19.6%減少する見込みです。埼玉県全体としては12.5%の人口減少が見込まれますので、それに比べると熊谷市の人口は大きく減少することが予想されます。

4 神奈川県 秦野市：－25.7%

秦野市は、神奈川県の中西部にある市です。人口は16万8千人ですが、2040年には14万8千人と11.9%減少することが見込まれています。神奈川県全体としては8.8%の人口減少が見込まれますので、それに比べると秦野市の人口は大きく減少することが予想されます。

5 埼玉県入間市：－25.6%

入間市は、埼玉県の南西部にある市で、狭山茶の産地。人口は14万9千人で、2040年には12万6千人と15.4%減少することが見込まれています。地理的には、賃料下落率1位の東京都青梅市に隣接しています。

6 神奈川県伊勢原市：－24.1%

伊勢原市は、神奈川県のほぼ中央に位置する市で、賃料下落率4位の秦野市に隣接しています。人口は10万1千人で、2040年には人口10万人を切る8万7千人と13.9%減少することが見込まれています。

7 神奈川県厚木市：－23.9%

厚木市は、神奈川県のほぼ中央に位置する市で、賃料下落率4位の秦野市と6位の伊勢原市に隣接しています。人口は22万5千人で地方自治法にもとづく特例市ですが、2040年には19万5千人と13.3%減少することが見込まれています。

8 千葉県我孫子市：－23.7%

我孫子市は、千葉県の北西部に位置する市で茨城県の取手市に接しています。人口は13万1千人で、2040年には10万3千人と21.4%減少することが見込まれています。千葉県全体の人口減少率は13.5%が予想されていますので、我孫子市の減少率は県全体を上回る

ものとなっています。

9 埼玉県久喜市：-23.5%

久喜市は、埼玉県の東部に位置します。人口は15万2千人で、2040年には12万1千人と20.4%減少することが見込まれています。

10 千葉県千葉市若葉区：-23.5%

千葉市若葉区は、千葉県千葉市の北東部に位置します。人口は15万1千人で、2040年には12万4千人と17.9%減少することが見込まれています。